



◇ 中部学院大学・医療体験セミナーに参加しました。

日 時： 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 10 : 30 ~ 12 : 30
場 所： 中部学院大学 関キャンパス
参加者： 1・2 年生希望者 10 名

中部学院大学看護リハビリテーション学部の先生方、スタッフのみなさんのご指導による医療体験セミナーに、1・2年生の希望者が参加しました。

学部学科の全体説明のあと、体験型模擬講義を受講しました。看護学科では、「安楽な身体の位置を変えよう」をテーマに体位変換と車椅子移乗の実習を行い（指導：大屋先生、野田先生、鈴木先生）。理学療法学科では、「自分のフォームをみてみよう」をテーマにモーションキャプチャーを体験しました（指導：笠野先生）。体験型模擬講義のあとは、看護棟やリハビリ棟などの施設設備を見学し、個別の質疑応答にも応じていただきました。

<https://www.chubu-gu.ac.jp/university/nursing/topics/2017/170929-01/>

（中部学院大HPIに当日の様子が紹介されています）



学部学科の全体説明



理学療法学科の実習



看護学科の実習

◇ ゼミに参加した生徒の感想

■車椅子の体験をして、歩くことが困難な人の目線や気持ちが分かるのと同時に、車椅子の補助を行って、曲がる時に声をかけることやゆっくり歩くことなどの大切さを体感しました。また、中部学院大学は設備が整っていて、高い実践力が身につけられると思いました。在宅看護学実習では、家庭生活の臨場感あふれる中で学べるのが素晴らしいと思いました。

先生方のお話の中で、「看護師は、問題を解決するために、答えを即座にたくさん考え、よりよい選択を自分で見つけなければならない」という言葉が一番印象に残りました。さらに、「ぶっちゃけ話」も聞かせてもらえて嬉しかったです。

看護師は、大変な仕事であるがとてもやりがいのある仕事だと思います。しっかり勉強して、知識と技術を身につけ、自分で判断できるような看護師になりたいです。

■私は将来看護師を考えていて、もっと看護師のことを知りたいと思い今回初めて看護体験に参加しました。実際にベッドの体位変換や車椅子使用の体験をしてみて、今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができました。患者さんのことを一番に考えて支えるのが看護師なんだなあと思いさらに興味をもてました。

今回たくさんのことを学べて看護師のことをたくさん知れたし、もっと知りたいと思いました。とても楽しくためになる体験ができてよかったです。